

区民の支援活動

区内でのさまざまな支援活動を紹介します。

銀座ミツバチプロジェクト



着物姿で農作業。福島を応援する銀座ミツバチプロジェクトと銀座社交料飲協会の皆さん

銀座ミツバチプロジェクトは、銀座のビルの屋上でミツバチを飼い、そこでできたハチミツを銀座の街で活用していただく活動をしています。

震災以降、ミツバチプロジェクトのネットワークを通じてさまざまな支援活動をしてきましたが、女性の視点では、被災者の皆さんが少しでも快適にお過ごしできるように、化粧品会社からスキンケアやヘアケア用品などをご提供いただき、福島県にお届けしました。

また、銀座社交料飲協会にご協力いただき、バーテンダーとママたちで福島市の土湯温泉の避難所に伺い、銀座ハニーカクテルやハニーミルクを4,000杯ご提供し、避難所生活の疲れを癒していただきました。翌日は、銀座ミツバチのビーガーデン農場に行き、風評被害に苦しむ福島の復興を願いながら農作業をしました。

チーム Tsukiji Women

チーム Tsukiji Women は、築地で働く女性たちが立ち上げた支援グループです。食器や台所用品などの生活雑貨の支援を呼びかけ、ゼロから始まる仮設住宅の「食卓再生」のお手伝いを目的に始めました。全国から集まった物資は段ボール1万箱、20万点にのぼり、築地の知恵と多くのボランティアの協力を得て仕分けをし、相馬市、東松島市、石巻市、大船渡市などで無料バザー「生活雑貨・お好きにどうぞ市」を開きました。物資の輸送は被災地の会社に依頼し、企業の支援につながりました。

昨年の秋からは手編みのマフラーもお届けしています。毛糸を提供する人、編む人など、総勢100人近くの方が関わっています。これまでに650本のマフラーをお送りしました。一針一針、被災された方々に思いを寄せながら編んでいます。寒さが一段落したら、春用のマフラーを編む予定です。なお、生活雑貨支援は終了しました。



チーム Tsukiji Women 代表の皆さん
(写真は中央区社会福祉協議会「まちひととサイト」より)

佃 LOVES 東北

震災発生から間もなく、支援の輪は佃に住む数人のママ仲間の呼びかけから始まりました。被災者の皆さんに何かしたいという思いは、メール等を通して幼稚園のママ友達、小学校のママ友達へと広がり、わずか1日で2トントラック一杯分の支援物資が集まりました。はじめの1週間で送り出したトラックは4回、3月18日には、近隣住人の方々のご協力も得て、炊き立てのご飯を持ち寄り、わずか3時間で1143個ものおにぎりを作り被災地に届けました。その後は時間の経過とともに支援内容も変わり、現地での豚汁の炊き出しなども行いながら、秋までに35回にわたる輸送を続けました。募金を集め扇風機や暖房器具を購入して送り届けることもしています。

活動を通してママ友達だけでなく地域との交流も深まりました。このつながりを大切に、これからも活動を続けていきたいと考えています。ブログ「佃 LOVES 東北」もぜひご覧ください。

佃 LOVES 東北の皆さん



していますが、もりおか女性センターでは、2007年から女性を対象に「夢を形にする講座」を実施しており、資産や財産のない女性たちや経済的自立を目指す女性たちに向けて起業支援をしてきました。そうした蓄積がこの「芽

でるカー」事業につながっています。今回、雇用した9名の女性たちも、市からの委託事業が終了した後は、それぞれ起業を目指しています。センターとしても、震災で仕事をなくした女性たちのために起業への道を応援していきたい

と思います。
防災と男女共同参画に向けて
生活とは元来、一人ひとり個別で多様なものです。その多様な生活を支えるためには、多様な視点から防災や避難所生活をシミュ

レーションする必要があります。とくに地域の防災組織には、生活者としての女性を参画させるとともに、助産師や看護師、保健師、ケアマネジャー、栄養士などさまざまな専門家を配置することが重要と考えます。

「女性の海外研修」報告会

昨年11月14日から20日までの7日間、サザランド市姉妹都市提携20周年記念事業として、女性の海外研修生10名がサザランド市を訪問しました。2月4日（土）に開催された報告会の様子をレポートします。

研修は、姉妹都市サザランド市（オーストラリア）を訪問し、市民レベルでの交流を図るとともにオーストラリアの男女共同参画を学び、今後の地域活動に活かすことを目的に実施されました。報告会には約50名の方が参加され、会場は満席となりました。

● 200 点を超えるスライド上映

最初に視察の様子が200点以上に及ぶスライドで上映されま

した。数々の視察先や研修生の真剣な表情、交流の様子や暮らしの風景など、充実した7日間が伝わってきました。

● 4つのテーマで報告

「国・州の現状と施策」では、女性の職場での地位向上や雇用均等について取り組んでいる「女性の雇用機会均等局」と「職業訓練専門学校」視察の報告がありました。「女性の雇用機会均等局」では、従業員100人以上の会社に女性が進出するための取り組み等についてレポートの提出を求めているそうです。

日にち	都市	主な視察および見学先
11月14日（月）	成田	
11月15日（火）	シドニー	女性の雇用機会均等局視察、オペラハウス見学
11月16日（水）	サザランド	中央区庭園、図書館見学、市長・助役、姉妹都市委員会の方と懇談、保育園見学ほか
11月17日（木）	サザランド	家庭訪問、ワイルドライフパーク見学ほか
11月18日（金）	サザランド シドニー	災害ボランティア見学、職業訓練校視察
11月19日（土）	シドニー	自由研修
11月20日（日）	成田	

「サザランド市の現状と施策」では、姉妹都市委員会の方々と訪れた中央区庭園、市議会議場、保育園等見学の様子が伝えられました。現在の市長が女性であり議員の3割を女性が占めているこ



と、また議員も仕事をもっているため、議会は夜に開催されることなど日本との違いを感じました。「一般生活」では、市民の暮らしや18時から家族そろって夕食を囲んでいること、女性も男性も性別や年齢に関係なく、誰もが複数のボランティア活動をしていることが印象的でした。

「自由研修」では、歴史建物、ウォーターフロント、ワイナリーを巡る3つのチームに分かれて多彩なオーストラリアに触れたようです。

報告会は、「オーストラリアの選挙の投票率」（答えは90%）などクイズを交えながら行われ、楽しみながら男女共同参画について知ることができました。

「女性の海外研修報告書」も大変充実しており、研修生の皆さんのこれからの地域活動に向けた意欲が十分に伝わりました。



「女性の海外研修報告書」は、ブーケ21でご覧いただけます。

事業協力スタッフ レポート

「女性の海外研修」報告会に参加して

2月4日（土）に報告会がありました。見知ったお顔も何人かいらして、さまざまに分野で活躍している人が研修に参加されているのだなと思いました。スライドショーはとてよくできていて、個人ではなかなか訪問できない施設がたくさん紹介されました。とくに「災害ボランティア（SEES）」の州（地域）ぐるみでサポートできている様子には「さすが！」と感じました。今、日本で一番関心・興味がある課題かもしれません。全体として国土の広さの違いもありますが、「人として生きる」ことの意味を考えさせられました。また、参加された方々がとてもお元気でそれぞれの活躍の場所での成果を実践してくれると確信しました。

事業協力スタッフ 橋谷信代

男女共同参画講演会

被災地のあとき、いま、これから

東日本大震災の被災地において、津波のときの学校の様子、集落が助け合って被災後の数週間を過ごした

育児中のママやパパたちのための
「ほっと一息 私の時間」



講師 氏家祥美さん

1月18日

ファイナンシャル・プランナーの氏家祥美さんをリーダー

にお迎えし、「私と家族の夢をかなえる家計術」をテーマにお話いただきました。

ワークでは、「今と将来の時間の使い方」、「私と家族の夢を書きだす」、「簡単家計管理のコツ」について、日常の生活や将来への思いなどをシートに書き込み、意見交換と発表をしました。

参加したママからは、「参加者の方と交流できたのがよかった」、「普段考えないことを見直すことができて面白かった」、「将来について具体的に考えられてよかった」などの感想が寄せられました。

ママたちがお

話をしている間、子どもたちも託児ボランティア（子育てリーダーCHUO）の方と楽しく過ごしました。



再就職セミナー
輝く女性のためのハッピー
キャリアアカレッシュ



講師 栗原知女さん

キャリアコ

ンサルタントの栗原知女さんを講師にお

迎えし、全6回にわたるセミナーの1回目が1月31日に開催されました。この日のテーマは先輩の体験談に学ぶ！ 専業主婦のプランクを乗り越えて再就職を成功させる方法」です。最初に栗原さんから再就職の心構えや自分のキャリアの分析、適職の選び方、目標の立て方などについてお話いただきました。続いてゲストから、子どもの成長にあわせた働き方や仕事の見つけ方など専業主婦からパートを経て正社員になられたご経験をお話いただきました。

参加者の皆さんからは、「前向きになることができた。自分磨きを始めた」、「自分の人生に無理なく、時間も人も味方につけて働いていることが参考になった」などの感想をいただきました。

参加者の皆さんからは、「前向き

になることができた。自分磨きを始めた」、「自分の人生に無理なく、時間も人も味方につけて働いていることが参考になった」などの感想をいただきました。



中央区ブーケ祭り実行委員会
今年のテーマは
「笑顔・つながり・仲間」に決定！

今年、第11回を迎える中央区ブーケ祭りの開催に向けて、2月7日に、第1回実行委員会が開かれました。今年の参加団体は、31団体。会長は小林里美さんが選任され、テーマも決定しました。

期日は、6月22日（金）、23日（土）。今年もさらに熱い中央区ブーケ祭りが期待できそうです。

平成24年度第1回水曜イブニングトーク
中央区の歴史の中の被災と支援活動
——九条武子

ブーケ21恒例の水曜イブニングトーク。今年のテーマは「災害からの復興と男女共同参画——私たちに何ができるか」。

第1回は、関東大震災時の中央区の被災状況と九条武子の献身的な支援活動のお話です。是非ご参加ください。

日時 4月4日（水）

午後6時30分～午後8時

場所 女性センター「ブーケ21」

ゲスト 中央区総括文化財調査指導員 野口孝一さん

費用 無料

申込方法

電話またはファクスで受付けます。（電子申請も可）

- ①講座名など
- ②氏名・ふりがな
- ③〒・住所
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥託児希望の場合（「被災地のあのとこ、いま、これから」のみ）
- ア お子さんの氏名
- イ ふりがな
- ウ 年齢

●電子申請の場合は、区のホームページからお申込みください。

申込先

女性センター「ブーケ21」
TEL 5543-0651
FAX 5543-0652
<http://www.city.chuo.lg.jp/>



▲奇跡の一本松 昨年7月の陸前高田▼



長洞元氣村（仮設住宅）の「太鼓組」の演奏



状況、仮設住宅に入居、復興への歩みと現在について、女性たちの力の大切さも含めお話を伺います。

日時 3月24日（土）

午後2時～午後4時

場所 女性センター「ブーケ21」

講師 岩手県陸前高田市市長洞地区仮設住宅長洞元氣村

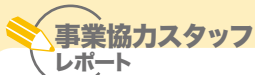
事務局長 村上誠二さん

定員 50名（先着順）

費用 無料

託児 生後3か月以上の未就学児（定員あり）。3月19日（月）までに申込み。

T O P I C S



男性のためのお料理講座

「初めて挑戦！冬を楽しむ料理を作ろう」

2月4日、11日の両日、吉田光一先生を講師に男性のためのお料理講座が開催されました。定員を超える応募があった中、30代から70代以上の16名の男性たちが、11日の講座では中華料理の麻婆豆腐、乾焼蝦仁（エビチリ）に挑戦です。

海老の殻ひとつ剥くにもシッポまで綺麗に剥き、少しでも大きく見せるプロの秘術を習いました。はじめてからうまはいきませんがそれも楽しむコツです。

にんにく、生姜、長葱、豆板醤などで作り上げたチリソースに炒めた海老がフライパンにころがり込むまは、まさに中華料理として絵になる瞬間、仲間たちも思わず拍手喝采です。試食タイムでは「うん！辛くて旨い！」「手を掛けた分、味も深くなるね！」と、みなさん絶賛の喜びの声でした。中でも『料理をつくる楽しみ』と『料理を味わう楽しみ』、この合わせ調味の妙味をあらためて体得できたことが一番うれしかった」という感想が印象的でした。

見事な麻婆豆腐とエビチリができあがりました▶



完成！



▲講義を聞くみなさんも真剣です



吉田先生は各テーブルをまわってアドバイスしていきます▼



一つひとつ丁寧に切っています



▶自作の料理の味は格別です



吉田先生は「『一日何色食べていますか』との気づきを意識し、何を食べているか、食に関心を持つことによって、食育につながり、それがまた環境を育む学びの糧となる」と、この講座を締めくくりました。

事業協力スタッフ 村田進益

館長

雑記

被災から1年…

▶このほかきびしい寒さが続いた冬でした。被災地のみなさんはどう過ごされたか、気にならない人はいないでしょう。ストーブの熱をチューブで床下に通って水道管の凍結を解凍したり、基礎杭をシートで覆って床下を吹き抜ける風を防いだりする映像がテレビでも流れ、北国の住まいの厳しさが実感されます。中央区でもたくさんの団体がさまざまな側面から被災地を応援していることがブーケの今号からもわかりますね。▶私の所属する小さな団体でも、被災した方たちと一緒に、「被災地のいま」を記録するプロジェクトを始めました。仮設住まいの期間を少しでも充実して過ごし、かつ、未来に向けてその記録を残していこうというものです。▶被災後1年の3月11日に展覧会を開こうと、集まった写真の中から、ひとり2、3枚ずつを選ぶ作業に立ち会いました。7歳から84歳までの方の写真は、選定にあたったプロカメラマンをうならせるものばかりでした。それぞれの「生活の中の感動」、「発見」や「希望」などが生き生きと捉えられているのです。復興への道のりがどんなにきびしくても、きっとやりとげるだろう……と、確信しました。「春遠からじ」です。（松川淳子）

「ブーケ 21」女性相談をご利用ください

配偶者や恋人からの暴力DVをはじめ、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします（費用無料）。お気軽にご相談ください。

電話相談
(予約不要)

●毎週月曜日に電話による女性相談窓口

相談電話番号（予約不要）03-5543-0653 10:00～16:00

（ただし祝日、年末年始を除く）

面談
(予約制)

毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00（ただし祝日、年末）
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30（年始を除く）

上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

予約電話番号 03-5543-0653 ＊記付付（要予約）

女性センター「ブーケ 21」へ来てみませんか？

女性センター「ブーケ 21」は、男女共同参画推進のための活動を支援し、一人ひとりが自分らしく輝くことができる中央区をめざす施設です。

〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号

電話番号 03-5543-0651

ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時（12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く）

●東京メトロ日比谷線・JR京葉線

八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分

●都バス「東15甲」（深川車庫⇄東京駅八重洲口／豊洲駅・明石町経由）

鉄砲洲下車 徒歩3分

●江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分

